

フレンズ 第31号

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業
通所介護事業（3カ所）
認知症対応型通所介護事業（2カ所）

発行日 平成24年 12月25日
居宅介護支援事業（1カ所）
地域包括支援センター（2カ所）
（世田谷区委託/介護予防支援事業）

今生の別れ

～ ホーム在籍22年の Mさんが残してくれたもの ～

統括施設長 飯田能子

ハイライト

○巻頭言

「今生の別れ」

開設当初より入所されていた Mさんの思い出を、施設長が語ります。

○特集

「フレンズ祭り」

地域に支えられ

14回を迎えました。

○知っとく便利帳

生活の中に必要な、ちょっと知っておくと便利な情報を新連載

目次:

巻頭言 「今生の別れ」

特集

フレンズ祭り 2
毎年多くの地域の方々に支えられています。いつもご協力頂いている方々（団体）のご紹介。

ホームで 100歳 3
おめでとうございます。

連載

連載 知っとく便利帳② 4

フレンズ祭り ご報告 4

Mさんとの別れは、突然にやってきた。彼女は、フレンズホーム開設（平成2年3月）と同時に入居し、今年11月21日に百歳を迎えた。フレンズホームの敬老祝賀会は、「敬老の日」を起点に年齢を数えるので、今年の式典には99歳として紹介されたが、都知事からのお祝い品は、この日に届けられた。

百歳の誕生日を明日に控えた11月20日の早朝、彼女はベッド脇で転倒し、右大腿骨を骨折、手術を受けたが、12月18日には入院先の病院からホームに帰ってくるようになっていた。

私は週末の12月15日午前、自宅で施設介護部長の電話を受け、彼女が9時過ぎに病院で亡くなったことを知った。ホーム在籍22年8ヶ月は勿論最長であるが、入居者名簿の入所年を辿っていくと、次に平成9年入所の2名が続いている。この7年の空き期間は、彼女の在籍年数がいかに特別なことかを物語っているように。

Mさんは、戦前、栄養学校を卒業し、下北沢の駅前にあった料理学校で主宰者の片腕となり、仕事一筋に生きて来た人であった。街の区画整理で学校が閉鎖され、友人との2人住まいで暮らしていたが、77歳の時、区のケースワーカーの助言もあり、特養ホーム入所となった。上顎の術後、咀嚼と発声に障害があったほかは、日常生活に支障はなかった。当時は経済的要因も特養ホーム入所の要件の一つであった。

Mさんは、施設長である私のことを

「親分」と呼んだ。彼女の世代には、組織を統率する者は、一目置くべき対象であったと思われるが、それだけでなく、女性の管理者への尊敬と信愛の情がそうさせたのであろう。同時に一人暮らしの私の健康をいつも気にかけていた。「大丈夫？ 大事にしてね」は、彼女の口癖だった。

彼女は、独立独歩の性格で、自分の世界を持っていた人であった。仏教への信心、美術への関心、書道。ベッド上に広げた新聞の切り抜きは、ホームの生活の最後まで続けられた。

「親分は、（辞めないで）ずっとここにいてね」。自分の最期を思い描いてであろうか、彼女は時々、私にこう言った。なのに、百歳の誕生日をホームで祝うことも許されず、入院先の病院で彼女は人生に幕を下ろした。骨折の朝、車椅子から立ち上がり、「病院には行かない」と強い拒否を示していたというのに、私はその場に居合わせず、関わってあげられなかった。12月6日に私が病院に見舞ったとき、私の手を彼女の頬に当てて、「帰りたい」と小さな声で訴えた彼女の手には、かつてのような力強さはなかった。

母を24年前に、父を12年前に亡くしている私を、肉親のかわりに身近で見守ってくれていたのが彼女であった。2代目施設長として14回のお正月を彼女とともに祝ってきたが、その機会は永久に失われた。が、来年も元旦の獅子舞を身振り手振りで陽気に歓迎する彼女の姿を目で追っている私自身がいることだろう。（12月18日記）

日赤下馬出張所東分団の方々

日赤奉仕団下馬出張所東分団の方々は、フレンズホーム開設当時からのお付き合いになります。当時は、布のオムツたたみのお手伝いを交代でして下さっていました。その後、盆踊り大会や災害時の防災協定等でも大変お世話になっております。

「フレンズ祭り」で焼きそば作りをして下さっている鈴木京子さんは「おいしいと言ってくれるのがうれしい」とのこと。焼きそばは毎年大繁盛で、鈴木さんがお昼ご飯を食べるのも、お祭りが終わった後になってしまいます。また、リサイクルの販売では、前日の大量の品物の値付け作業が大変とのお話でした。

東分団の皆さんは、自治会主催の「桜祭り」、区主催の「環境フェスタ」、日赤主催のバザー、応急救護講習会等の年間の活動がある中「フレンズ祭り」にも関わって下さっています。分団長の三村さんは「フレンズホームがあるから、1年を通してさらに活動が広がって、他の分団と比べて皆仲がいいのよ」と地域の中核の一つとしてフレンズの意味を教えてくださいました。(M)



バックがお買い得よ!

ガーディナー ひまわりの皆さん

フレンズホームでの、楽しい園芸ボランティア活動をして18年位になります。今では、ボランティア仲間も病気をしたり、忙しかったりでなかなか顔を会わせる機会がありません。

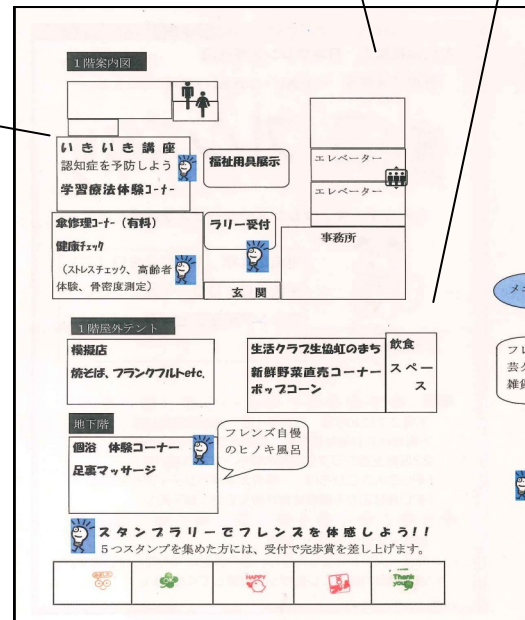
でも、1年に1度のフレンズ祭りには、皆で参加する事にしています。今年で14回目になります。参加する事でフレンズの利用者さん、フレンズのスタッフさん、ボランティアさん、地域の方にお会いし情報交換する事で、私達にとって素晴らしい学びと、前向きに頑張らなくては等々、人と人との繋がり大切さを再確認できるお祭りです。

毎年、趣向を凝らしたお祭り、フレンズスタッフの皆さんのご苦勞は大変だと思います。私達や他の皆さんもとても楽しみにしていますので、来年も皆で頑張りたいと思います。

ガーディナーひまわり 須藤 和代



ガーディナーひまわりの皆さんも喫茶コーナーにてご歓談。



100歳おめでとございます! フレンズ元気印の方々

中村 まさ様

2階のエレベーターが開くと、目の前の肘かけ椅子に座り、足を横に備えつけてある手摺に向かって、上へピーンと伸ばしている姿は、とても100歳には見えません。始めて見る人は、一様にびっくりし、歳を聞いて二度びっくりします。

フレンズホーム在籍2年、開設からの入居、まだまだ元気にお暮らします。元気な源は、やはりこだわりの食習慣、朝食には必ず、すりおろしの生玉葱と人参・葉葱、そして卵、お粥は傾けた時に水は出てはいけないと断言し、これが続くと「栄養士さん呼んで〜」とお叱りを受けます

が、そのおかげでフレンズホームのお粥はふっくらして離水しません。

施設長を親分と呼び、用事を思い出しては1階に会いに行き、そしてご自分より年下の“親分”の健康をとても心配して、「大丈夫？」を忘れません。

まささん、まだまだお元気で、フレンズ元気長寿記録を更新してくださいね。(栗原)



2010年12月9日上野国立博物館「東大寺大仏展」で。案内役は施設長。

巻頭文は、お亡くなりになった 中村まさ様の追悼文に、急遽差し替えさせていただきました。

下馬二丁目北町会の皆さん



フラダンスのキヌ中丸会の方々。
手作りの衣装で踊って下さいました。

1階部分では、毎年生活クラブ生協の方々がおいしい肉まんや牛乳、などを販売。品質の良さが光っています。今年、骨密度の計測をして下さいました。



およそ2,400世帯、6,000人が生活を営む都営住宅。その中で50年余りに渡り町会活動を行っているのが、下馬二丁目北町会である。

フレンズ祭りとは下馬二丁目北町会との関わりは、平成17年（※第6回フレンズバザー）のフレンズバザー委員会に遡る。

町会長、副会長にフレンズバザー外部委員を委嘱。以来、町会を挙げてのフレンズバザー開催案内や献品依頼のチラシ配布、模擬店用器材の貸与や駐車場のテント張り、当日の宣伝カーの運転など、長年、多岐に渡りフレンズバザーをバックアップしていただいている。

昭和36年から副会長を務める田村久直氏は、「町会の役割は、住民が安心して住める町づくりだと思う。フレンズ祭りをサポートすることで、福祉の現場から沢山の事を学べている」と話して下さいました。

「今年の祭りも良かったけれど、次回のフレンズ祭りをもっと盛大にするにはどうした良いか考えなくちゃね」田村副会長は、早くも来年のフレンズ祭りを思い描いているようだ。

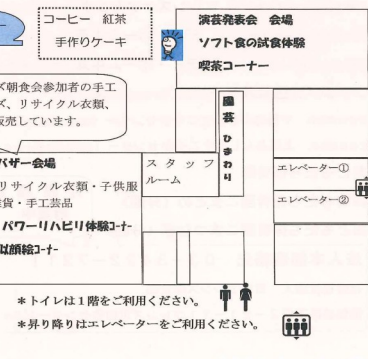
フレンズにとって、なんとも頼もしい町会である。(H)

田村さんは、フレンズ祭り当日の朝、知人の畑に朝採り野菜の仕入れに行くため、トラックに乗込みます。新鮮な野菜を毎年ありがとうございます！



4階案内図

演奏プログラム	4階案内図
10:30 演奏	サロン・座・楽談
11:00 どじょうすくい 南京玉すだれ	横山 シツ子
11:40 落語	新徳駒の会
12:10 演奏 フォーク 一緒に唄を	斉藤 晴夫
13:00 フラダンス	キヌ中丸会
13:25 シャンソン	吉田 藤子



駒沢大学ボランティアサークルの皆さん

毎週金曜日に駒大ボランティアの方々の方が来所し、紙芝居や歌、天気の良い日は入居者の方々と外へ買い物や散歩に行ったりと、入居者の方々を楽しませてくれています。フレンズ祭りにも来ていただき、バザー等の手伝いも積極的にして下さいました。そんな駒大のみなさんからフレンズ祭りに参加した感想をお聞きしました。

- ・バザーの補助をやって緊張しましたが、入居者さんにありがとうと声をかけていただいたり、喜んでもらったので嬉しかったです。
- ・地域の方々との交流がある事は、とてもよいと思ったし大事なことだと思った。

次回のイベントはクリスマス会です。今から楽しみですね。(T)



岡村ヨシ様

2月10日で100歳を迎えられました！

小柄でかわいらしいおばあちゃん、たくさん飾りを付けたカートを押してどこまでもスイスイ〜と歩いてく！今でも、とてもお元気で自立されていることが多く、なんとご自分で個浴に入られます！！こんな元気なおばあちゃん見たことがありません！！

そしていつまでも乙女心を忘れず、鏡の前ではしっかりと身だしなみを整えたり、ご家族からいただいたきれいなバッグを大事に持っていたりと、実はフレンズの中でもおしゃれさんなのです！

来年の101歳のお誕生日もきれいにめかしして、みんなで盛大に乾杯しましょうね！(K)



恩村アイ子様

10月1日で100歳を迎えられた恩村さん。とてもお元気で、毎日手押しカートを使ってご自分でしっかりと歩かれているお姿を見ると私たちも自然と元気が湧いてきます。スタッフの声かけにもいつも穏やかな笑顔で答えて下さり、その笑顔に癒されている私たちです。

北海道ご出身で、若い頃はスキーをされていたとのこと。「今はできるかわらんけどなあ。」と和やかに話をしてくれていました。また、恩村さんは若い頃から1日1袋のアメをあっという間に食べられていたそうです。元気の源は、現在もアメでしょうかね！？これからもお元気で過ごして下さい。(I)



〒154-0002
世田谷区下馬2-21-11
電話 03 (3422) 7211
Fax 03 (3422) 7227
Email info@n-friends.or.jp

- 世田谷区下馬2-21-11 Tel 3422-7211(代)
フレンズホーム / フレンズケアセンター
下馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区上馬4-36-9 Tel 5430-8050
デイ・ホーム上馬 上馬あんしんすこやかセンター
- 世田谷区野沢3-25-10 Tel 5486-7400
デイ・ホーム中丸・認知症デイ「ひだまり」
フレンズ介護保険サービス



であい・ふれあい
地域のささえあい

ホームページもご覧下さい。
<http://www.n-friends.or.jp/>

編集後記

本号はフレンズ祭りを特集するはずでしたが、フレンズホーム開設時の入所者で、最後の在籍者であった中村まささんが、12月16日に逝去されました。中村さんを偲んで、巻頭文を急遽、追悼文に差し替えて編集しました。

2頁下欄の「フレンズ元気印の方々」の栗原部長の原稿は、そのまま掲載させていただきました。(森茂)

フレンズ祭りの「スタンプラリー」に挑戦してみました。「パワーリハビリ」ではマシンを動かすのは気持ちが良く、「ソフト食の試食」はしっかりした食感に満足。「個浴体験」も職員のやさしい説明に納得し、「学習療法」では大きな声で文章を読み、頭が活性化した気持ちになりました。来年も多くのみなさまに体験していただけたらと思います。(I)

=連載= リレーコラム 知っとく/便利帳 ② 消費者被害

Q: 高齢者を狙った悪質商法

最近はどんな手口が多いのですか?

- A: ①「未公開株や社債を売る」と勧誘があった後、「高く買い取る」とだまし購入させる。
- ②「無料で点検する」「検査してあげる」と訪問し、検査後「水が汚れている」「床下に湿気がある」などと不要な工事の契約をさせる。
- ③出会い系サイトで「芸能人に会える」「悩みを聴いて」「財産を譲る」などとメールを交換しているうちに多額のポイント代を支払ってしまう。

Q: どうしたら防げるでしょう?

- A: ①「今しか出来ない」などとせかされてもその場で決めず、家族や知人に相談する。
- ②「かならず儲かる」「あなただけ特別」などの話には耳を貸さない。
- ③契約してしまってもクーリング・オフ(一定の期間内に契約を解除出来る)制度で解約できる。(通信販売にはクーリング・オフ制度はないので注意)
- ④「訪問販売お断り」などのステッカーも有効。



第4回 フレンズ祭り

ご協力ありがとうございました。

皆様のご協力のおかげで、来場者数250名、利益20万5624円でした。この利益は、ご利用者のために使わせて頂きます。

献品のご協力やご来場ありがとうございました。

《協力団体》

NPO法人えこひろば、NPO地球足もみ健康法実践普及教会、園芸ボランティアひまわり、かつぼれ新宿駒の会、関東メディカルサービス、キアヌ中丸会公文、駒大ボランティアサークル、斎藤晴夫様、サロン座楽団下馬地区社会福祉協議会下馬二丁目北町会、生活クラブ生協虹のまち、日赤奉仕団下馬出張所東分団、横山シツ子様、吉田藤子様
レティケアサービス城南(五十音順)

区内の相談機関

消費生活相談専用電話..... ☎ 3410-6522
高齢者(65歳以上)消費者被害専用電話..... ☎ 5486-6501